

【引受保険会社】



アクサ生命保険株式会社

redefining / standards

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

ユニット・リンク

ユニット・リンク保険(有期型)

2013年度 (2013年4月～2014年3月) 特別勘定の現況

決算のお知らせ

ご契約者の皆様へ

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
さて、弊社は去る3月31日に決算を迎えましたので、ここに特別勘定の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも何卒ご愛顧の程よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

平成26年4月1日から、消費税率が5%から8%に引き上げられたことから、運用関係の費用を変更させていただきました。
13ページの「運用関係費」をご確認ください。

【利用する投資信託の委託会社】

アライアンス・バーンスタイン株式会社



アライアンス・バーンスタイン株式会社は、米国ニューヨークに本社を置くアライアンス・バーンスタイン・エル・ピーを中核とするアライアンス・バーンスタイン*の日本拠点です。
アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーは1971年の設立以来、資産運用会社として長年にわたる歴史を有し、世界各国の主要都市に業務展開を行い、個人投資家や富裕層、機関投資家向けに投資信託や年金運用等の投資サービスを提供しています。業界最大級のグローバルな調査体制を擁する世界有数の運用会社として、グロース株式、バリュー株式、債券、ブレンド戦略など、幅広い資産運用サービスや商品を提供しています。

*アライアンス・バーンスタインには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門(SSgA)の東京拠点です。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。SSgAは、最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「ユニット・リンク保険(有期型)」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「ユニット・リンク保険(有期型)」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」を合わせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の現況（2013年4月～2014年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2013年4月～2014年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、上昇しました。東証株価指数(TOPIX)は前期末比+16.25%上昇の1,202.89ポイント(前期末は1,034.71ポイント)で終了しました。期初、日本銀行が事前予想を上回る大幅な金融緩和策を決定したことなどから大きく上昇して始まりましたが、米国の量的緩和縮小の見送りやシリア情勢の緊迫化などにより1月中旬ごろまで揉み合いながらも上昇基調で推移しました。その後、軟調な米国株式市場などを背景に下落しましたが、中国の経済指標の悪化や米国の経済指標の改善などを材料に揉み合いで推移して、今期を終えました。業種別(東証33業種)では、買収による海外事業の拡大が期待された「情報・通信業」(前期末比+40.27%)が最も上昇した一方、前年度の大幅上昇の反動から「倉庫・運輸関連」(同△2.93%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、上昇しました。NYダウは前期末比+12.89%上昇の16,457.66ドル(前期末は14,578.54ドル)で終了しました。今期前半は、シリア情勢の緊迫化や財政協議の先行き不透明感などから下落する局面もありましたが、好調な雇用統計や量的緩和縮小の見送りなどを受けて上昇し、揉み合いながら推移しました。今期後半は、与野党が財政協議で合意に達したことなどから上昇した後、新興国経済の先行き不透明感などから下落しましたが、ウクライナ情勢に対する警戒感の一般などから上昇基調で推移して、今期を終えました。

欧州株式市場は、上昇しました。概ね米国株式市場と同様の動きとなりましたが、金融政策を巡る動向やウクライナ情勢などにより、値動きが大きくなる局面がありました。市場別騰落率は、英FT100は前期末比+2.91%上昇、仏CAC40は同+17.69%上昇、独DAXは同+22.59%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、金利が上昇しました。新発10年国債利回りは0.64%となりました(前期末は0.56%)。

今期前半は、日本銀行による大幅な金融緩和策決定などを受けて金利は大幅に低下(価格は上昇)しましたが、国内株式市場の上昇などにより上昇(価格は下落)に転じ、その後、米国の量的緩和縮小見送りなどを背景に低下基調で推移しました。今期後半は、米国の金利上昇などを受けて上昇後、国債需給の逼迫などから低下し、期末は国内株式市場の下落や需給の緩みが意識され、債券先物の売りが強まったことなどから揉み合いで推移して、今期を終えました。

日本銀行は4月に金融市場調節の操作目標をマネタリーベースに変更し、マネタリーベースが年間約60～70兆円に相当するペースで増加するよう金融市場調節を行いました。無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、金利が大幅に上昇しました。米10年国債利回りは2.72%となりました(前期末は1.85%)。今期前半は、量的緩和と早期縮小観測や雇用統計の改善などを受けて、金利は大幅に上昇(価格は下落)しました。今期後半は、量的緩和縮小開始の決定などを背景に上昇後、新興国通貨の下落などを受けて低下(価格は上昇)しましたが、FRB(米連邦準備制度理事会)議長が発言により金融政策の継続性が確認されたことや好調な国債入札結果などから揉み合いで推移して、今期を終えました。

欧州債券市場は、金利が上昇しました。独10年国債利回りは1.57%となりました(前期末は1.29%)。概ね米国債券市場と同様の動きとなりましたが、期末にかけては、低下基調で推移しました。金融政策を巡る動向やウクライナ情勢などにより、金利の低下幅が広がる局面がありました。

FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.00～0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は5月と11月に政策金利を0.25%ずつ引き下げ、年0.25%としました。

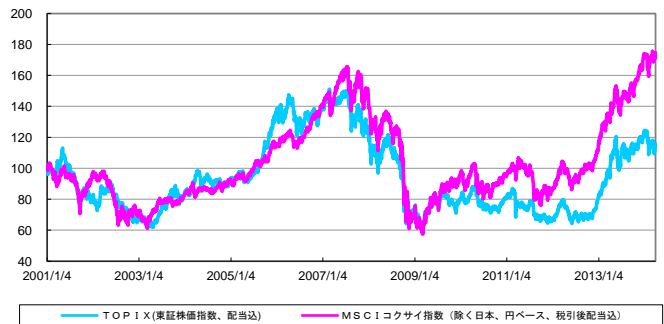
【外国為替市場】

外国為替市場は、前期末比較で概ね円安となりました。米ドル/円相場は、前期末比8円87銭円安ドル高の1ドル=102円92銭となりました(前期末比+9.43%上昇)。今期前半は、日本銀行の大幅な金融緩和策決定などから円安が加速する一方、世界的な株安を背景に円高の動きとなるなど、揉み合いながら推移しました。今期後半は、米国で量的緩和縮小開始が決定されたことなどから円安が進行した後、米国の利上げ時期を巡る動きやウクライナ情勢などから揉み合いで推移して、今期を終えました。

ユーロ/円相場は、前期末比20円92銭円安ユーロ高の1ユーロ=141円65銭となりました(前期末比+17.33%上昇)。今期前半は、日本銀行の大幅な金融緩和策決定などから円安が加速した後、金融政策を巡る動向などから円安基調で推移しました。今期後半は、ドイツ株式市場の上昇などにより円安が進行した後、ECBの金融政策の動向やウクライナ情勢などから揉み合いで推移して、今期を終えました。

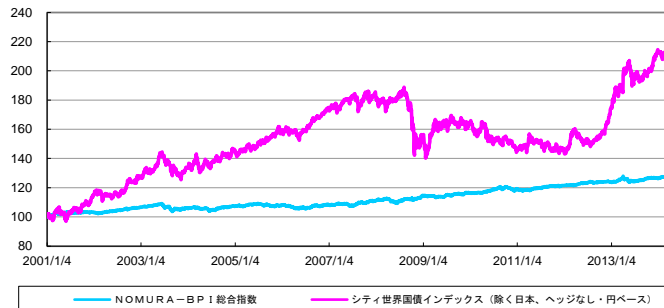
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

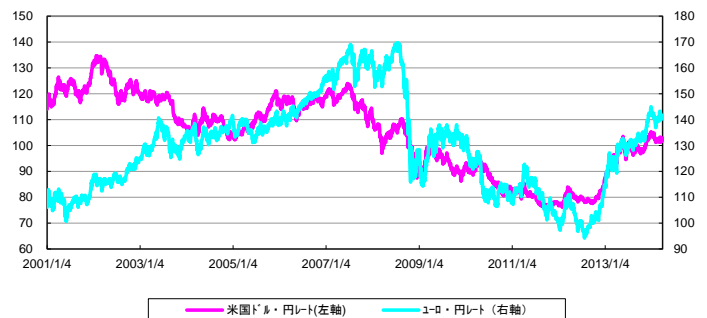


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の現況

（2013年4月～2014年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の種類と運用方針について

特別勘定名	基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託		
			投資信託名	運用方針	委託会社
安定成長 バランス 型	日本 株式 20%	主として国内外の株式及び債券を 主要投資対象とする投資信託に投 資することにより、中長期的に安定 した投資成果を目標として運用を 行います。実質組入外貨建資産の 為替変動リスクに対するヘッジは 原則として行いません。 基本資産配分は、日本株式20%、 外国株式20%、日本債券30%、 外国債券30%とし、一定の規律に 従いリバランス*を行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・ スタイル・ブレンド・ファンド-2	※ 特別勘定【日本株式プラス型】の運用方針をご参照ください。	アライアンス・バーン スタイン株式会社
	外国 株式 20%		適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・海外株式 スタイル・ブレンド・ファンド-1	※ 特別勘定【外国株式プラス型】の運用方針をご参照ください。	アライアンス・バーン スタイン株式会社
	日本 債券 30%		ステート・ストリート日本債券 インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の 公社債等に投資を行い、ベンチマーク(NOMURA-BPI 総合 指数*2)に連動した投資成果をめざします。	ステート・ストリート・ グローバル・アドバ イザーズ株式会社
	外国 債券 30%		ステート・ストリート外国債券 インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を 除く世界主要国の国債、政府機関債等に投資を行い、ベンチ マーク(シティ世界国債インデックス*3(除く日本、ヘッジなし・ 円ベース))に連動した投資成果をめざします。外貨建資産に ついては、原則として為替ヘッジを行いません。	ステート・ストリート・ グローバル・アドバ イザーズ株式会社
積極運用 バランス 型	日本 株式 25%	主として国内外の株式及び債券を 主要投資対象とする投資信託に投 資することにより、中長期的に安定 した投資成果を目標として運用を 行います。実質組入外貨建資産の 為替変動リスクに対するヘッジは 原則として行いません。 基本資産配分は、日本株式25%、 外国株式35%、日本債券20%、 外国債券20%とし、一定の規律に 従いリバランス*を行います。	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ジャパン・ スタイル・ブレンド・ファンド-2	※ 特別勘定【日本株式プラス型】の運用方針をご参照ください。	アライアンス・バーン スタイン株式会社
	外国 株式 35%		適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・海外株式 スタイル・ブレンド・ファンド-1	※ 特別勘定【外国株式プラス型】の運用方針をご参照ください。	アライアンス・バーン スタイン株式会社
	日本 債券 20%		ステート・ストリート日本債券 インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の 公社債等に投資を行い、ベンチマーク(NOMURA-BPI 総合 指数*2)に連動した投資成果をめざします。	ステート・ストリート・ グローバル・アドバ イザーズ株式会社
	外国 債券 20%		ステート・ストリート外国債券 インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を 除く世界主要国の国債、政府機関債等に投資を行い、ベンチ マーク(シティ世界国債インデックス*3(除く日本、ヘッジなし・ 円ベース))に連動した投資成果をめざします。外貨建資産に ついては、原則として為替ヘッジを行いません。	ステート・ストリート・ グローバル・アドバ イザーズ株式会社

特別勘定名	基本資産 配分比率	利用する投資信託		
		投資信託名	運用方針	委託会社
日本株式 プラス型	日本 株式 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ ジャパン・スタイル・ブレンド・ ファンド-2	マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対 象に信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。バリュー株(割安株)及び グロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス*を行 います。	アライアンス・バーン スタイン株式会社
外国株式 プラス型	外国 株式 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ 海外株式スタイル・ブレンド・ ファンド-1	マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本を除く世界主要国 の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。バリュー 株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従い リバランス*を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	アライアンス・バーン スタイン株式会社
世界債券 プラス型	世界 債券 100%	適格機関投資家私募 アライアンス・バーンスタイン・ グローバル・ボンド・ファンド-3	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)を投資対象 に分散投資と投資対象証券の相対的投資価値分析を基本として、信託財産の長期的な成長を図るこ とを目標に積極的な運用を行います。 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	アライアンス・バーン スタイン株式会社
金融 市場型	短期 金融 資産 100%	アクサ ローゼンバーク・ 日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募)	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品 に投資し、安定した収益の確保をめざします。	アクサ・インベストメ ント・マネージャーズ 株式会社

※ 特別勘定の種類、運用方針および委託会社等の運用協力会社は、法令等の改正または効率的な資産運用が困難になる等の理由により、変更されることがあります。
なお、委託会社等の運用協力会社については、運用成績の悪化等、当社がお客さまの資産運用にふさわしくないと判断した場合、変更させていただくことがあります。

※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

・3ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の現況

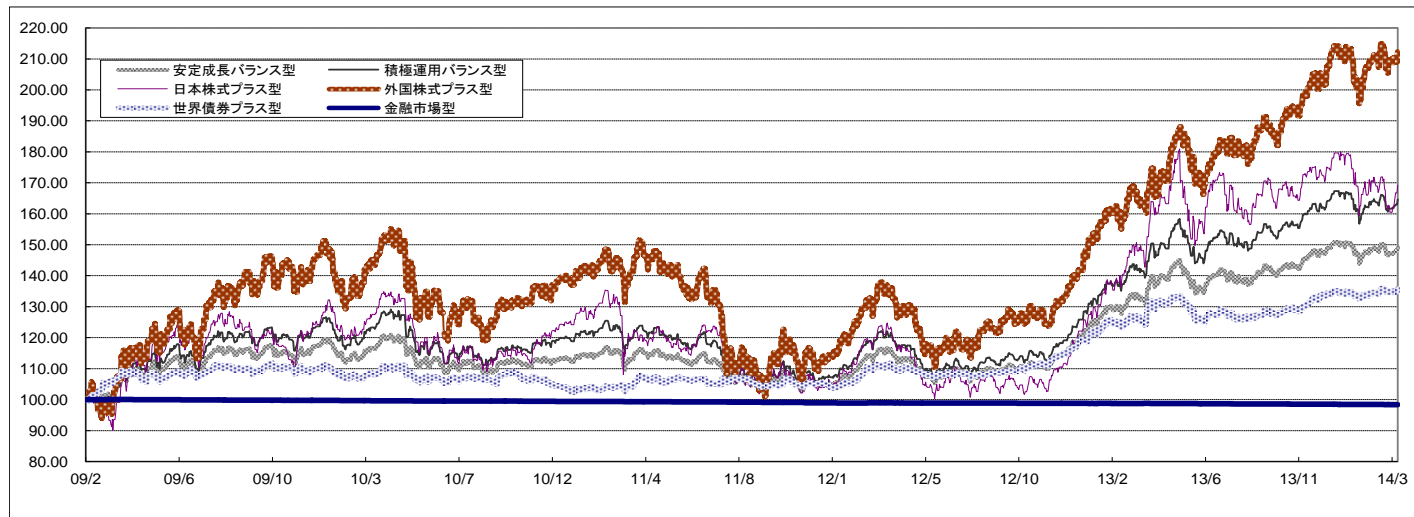
（2013年4月～2014年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2014年3月 末日現在]

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



■特別勘定資産の内訳

特別勘定名	資産残高
	金額(千円)
安定成長バランス型	1,266,372
積極運用バランス型	1,074,408
日本株式プラス型	369,214
外国株式プラス型	1,119,644
世界債券プラス型	333,707
金融市場型	63,531

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の現況（2013年4月～2014年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定 安定成長バランス型 [2014年3月 末日現在]

■特別勘定の運用方針

【運用者】 アクサ生命保険株式会社

【運用方針】

主として国内外の株式及び債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、中長期的に安定した投資成果を目標として運用を行います。実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。基本資産配分は、日本株式20%、外国株式20%、日本債券30%、外国債券30%とし、一定の規律に従いリバランス¹を行います。

※ 利用する投資信託の情報につきましては、以下をご参照ください。

■特別勘定の資産構成

	基本資産配分	特別勘定
日本株式	20.00%	19.16%
外国株式	20.00%	19.33%
日本債券	30.00%	28.61%
外国債券	30.00%	29.09%
現預金・その他	—	3.81%
合計	100.00%	100.00%

※ 上記比率は、特別勘定資産残高に対する比率となります。

資産クラス	利用する投資信託		参照ページ
	投資信託名	運用方針	
日本株式	適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2	マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。バリューストック(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス ¹ を行います。	8ページ
外国株式	適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・海外株式スタイル・ブレンド・ファンド-1	マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本を除く世界主要国の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。バリューストック(成長株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス ¹ を行います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	9ページ
日本債券	ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の公社債等に投資を行い、ベンチマーク(NOMURA-BPI 総合指数 ²)に連動した投資成果をめざします。	7ページ (上段)
外国債券	ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界主要国の国債、政府機関債等に投資を行い、ベンチマーク(シティ世界国債インデックス ³ (除く日本、ヘッジなし・円ベース))に連動した投資成果をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	7ページ (下段)

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2013年度のユニットプライス騰落率は+12.66%となりました。組み入れている全ての資産が上昇し、ユニットプライスにプラス寄りました。資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。今後も引き続き、上記運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



安定成長バランス型			
	ユニットプライス	騰落率(%)	
2014年3月末	149.33	過去1ヵ月	0.53
2013年12月末	151.01	過去3ヵ月	▲ 1.11
2013年9月末	141.48	過去6ヵ月	5.55
2013年6月末	137.35	過去1年	12.66
2013年3月末	132.54	過去3年	29.83
2012年12月末	120.72	設定来	49.33

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	安定成長バランス型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	48,280	3.8
その他有価証券	1,218,091	96.2
合計	1,266,372	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	29,922
有価証券売却益	—
有価証券評価益	101,757
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	131,679

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～11ページに記載されている「1～7」の用語説明は、12ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型） 特別勘定の現況（2013年4月～2014年3月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定 積極運用バランス型 [2014年3月 末日現在]

■特別勘定の運用方針

【運用者】 アクサ生命保険株式会社

【運用方針】

主として国内外の株式及び債券を主要投資対象とする投資信託に投資することにより、中長期的に安定した投資成果を目標として運用を行います。実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。基本資産配分は、日本株式25%、外国株式35%、日本債券20%、外国債券20%とし、一定の規律に従いリバランス¹を行います。

※ 利用する投資信託の情報につきましては、以下をご参照ください。

■特別勘定の資産構成

	基本資産配分	特別勘定
日本株式	25.00%	23.80%
外国株式	35.00%	33.62%
日本債券	20.00%	18.95%
外国債券	20.00%	19.26%
現預金・その他	—	4.37%
合計	100.00%	100.00%

※ 上記比率は、特別勘定資産残高に対する比率となります。

資産クラス	利用する投資信託		参照ページ
	投資信託名	運用方針	
日本株式	適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレンド・ファンド-2	マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。バリューストック（割安株）及びグロース株（成長株）への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス ¹ を行います。	8ページ
外国株式	適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・海外株式スタイル・ブレンド・ファンド-1	マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本を除く世界主要国の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目的に積極的な運用を行います。バリューストック（割安株）及びグロース株（成長株）への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス ¹ を行います。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	9ページ
日本債券	ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2 ＜適格機関投資家限定＞	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の公社債等に投資を行い、ベンチマーク（NOMURA-BPI 総合指数 ² ）に連動した投資成果をめざします。	7ページ （上段）
外国債券	ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2 ＜適格機関投資家限定＞	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界主要国の国債、政府機関債等に投資を行い、ベンチマーク（シティ世界国債インデックス ³ （除く日本、ヘッジなし・円ベース））に連動した投資成果をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	7ページ （下段）

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2013年度のユニットプライス騰落率は+16.39%となりました。組み入れている全ての資産が上昇し、ユニットプライスにプラス寄与しました。資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。今後も引き続き、上記運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



積極運用バランス型			
	ユニットプライス	騰落率(%)	
2014年3月末	164.63	過去1ヵ月	0.59
2013年12月末	167.34	過去3ヵ月	▲ 1.62
2013年9月末	154.17	過去6ヵ月	6.78
2013年6月末	148.07	過去1年	16.39
2013年3月末	141.45	過去3年	34.64
2012年12月末	125.84	設定来	64.64

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日（2009年2月1日）の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	積極運用バランス型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	46,910	4.4
その他有価証券	1,027,497	95.6
合計	1,074,408	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	24,845
有価証券売却益	—
有価証券評価益	104,566
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	129,412

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～11ページに記載されている「11～7」の用語説明は、12ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

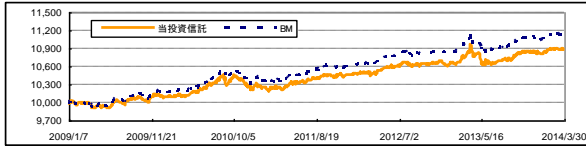
ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の現況（2013年4月～2014年3月）

- ・ここでは、「特別勘定 安定成長バランス型」「特別勘定 積極運用バランス型」で利用している投資信託の情報を記載しております。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

【参考情報】ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定> [2014年3月末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

投資信託	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲0.26%	0.69%	0.76%	0.18%	6.16%	8.73%
BM	▲0.23%	0.77%	0.96%	0.58%	7.39%	11.29%
差	▲0.03%	▲0.08%	▲0.20%	▲0.40%	▲1.23%	▲2.56%

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を起点として計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。
- ※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 組入上位10銘柄

銘柄	クーポン	償還日	マザーファンド	BM
1 第332回利付国債	0.600%	2023年12月20日	0.97%	0.93%
2 第105回利付国債	0.200%	2017年6月20日	0.92%	0.98%
3 第298回利付国債	1.300%	2018年12月20日	0.91%	0.54%
4 第116回利付国債	0.200%	2018年12月20日	0.86%	0.98%
5 第115回利付国債	0.200%	2018年9月20日	0.86%	0.69%
6 第286回利付国債	1.800%	2017年6月20日	0.86%	0.52%
7 第111回利付国債	0.400%	2018年3月20日	0.82%	0.37%
8 第101回利付国債	0.400%	2016年12月20日	0.82%	0.34%
9 第278回利付国債	1.800%	2016年3月20日	0.78%	0.24%
10 第330回利付国債	0.800%	2023年9月20日	0.77%	0.67%
合計			8.58%	6.28%
組入銘柄数			806銘柄	

※ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

■当投資信託について

【投資信託名】 ステート・ストリート日本債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>
 【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本の公社債等に投資を行い、ベンチマーク(NOMURA-BPI 総合指数²)に連動した投資成果をめざします。

※ 当投資信託は、主としてステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券に投資します。

○ 債券種別資産構成比率

	マザーファンド	BM	差
国債	78.81%	79.11%	▲0.29%
地方債	6.34%	6.19%	0.14%
政府保証債	3.94%	3.86%	0.09%
金融債	1.04%	1.00%	0.04%
事業債	7.63%	7.83%	▲0.20%
円建外債	0.66%	0.68%	▲0.03%
MBS債	1.39%	1.33%	0.06%
コール・その他	0.20%	0.00%	0.20%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

※ 資産担保証券(ABS)は事業債に含まれています。

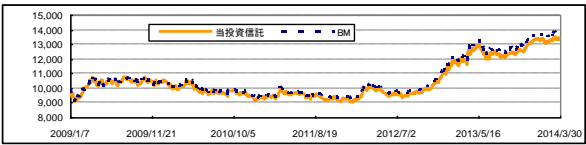
○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド	BM	差
平均複利回り	0.57%	0.56%	0.00%
平均クーポン	1.34%	1.30%	0.04%
平均残存期間	8.64	8.64	▲0.01
修正デュレーション	7.67	7.68	▲0.01

- ※ 「複利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。
- ※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ※ 2013年11月より、BMの数値はポートフォリオの属性分析を行っている大和Poetにより、委託会社が計算して掲載しております。

【参考情報】ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定> [2014年3月末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

投資信託	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	1.38%	0.30%	8.95%	14.59%	39.94%	34.57%
BM	1.43%	0.43%	9.22%	15.11%	41.85%	38.17%
差	▲0.05%	▲0.13%	▲0.27%	▲0.52%	▲1.90%	▲3.60%

- ※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)の前日を起点として計算しています。
- ※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。
- ※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 組入上位10銘柄

銘柄	通貨	クーポン	償還日	マザーファンド	BM
1 アメリカ国債	米ドル	0.375%	2015年6月15日	1.16%	0.22%
2 アメリカ国債	米ドル	4.500%	2015年11月15日	0.83%	0.16%
3 アメリカ国債	米ドル	4.250%	2015年8月15日	0.82%	0.22%
4 アメリカ国債	米ドル	1.875%	2015年6月30日	0.80%	0.26%
5 アメリカ国債	米ドル	1.250%	2015年10月31日	0.65%	0.24%
6 アメリカ国債	米ドル	2.250%	2016年3月31日	0.57%	0.15%
7 アメリカ国債	米ドル	2.500%	2023年8月15日	0.57%	0.33%
8 アメリカ国債	米ドル	0.375%	2016年2月15日	0.56%	0.21%
9 アメリカ国債	米ドル	0.375%	2016年1月31日	0.56%	0.21%
10 アメリカ国債	米ドル	4.125%	2015年5月15日	0.52%	0.23%
合計				7.05%	2.23%
組入銘柄数				492銘柄	

- ※ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。
- ※ ベンチマーク(BM)の比率は2014年3月30日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場仲値で円換算したものです。

■当投資信託について

【投資信託名】 ステート・ストリート外国債券インデックス・ファンドVA2 <適格機関投資家限定>
 【委託会社】 ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に日本を除く世界主要国の国債、政府機関債等に投資を行い、ベンチマーク(シティ世界国債インデックス³(除く日本、ヘッジなし・円ベース))に連動した投資成果をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

※ 当投資信託は、主としてステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券に投資します。

○ 組入上位10カ国

国名	マザーファンド	BM
1 アメリカ	38.01%	38.14%
2 フランス	10.58%	10.60%
3 イタリア	10.56%	10.56%
4 ドイツ	8.92%	8.94%
5 イギリス	7.83%	7.86%
6 ス페인	5.70%	5.71%
7 ベルギー	2.89%	2.89%
8 オランダ	2.84%	2.83%
9 カナダ	2.30%	2.30%
10 オーストリア	1.78%	1.77%
合計	91.42%	91.61%

○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド	BM	差
平均複利回り	1.72%	1.71%	0.01%
平均クーポン	3.38%	3.06%	0.32%
平均残存期間	7.78	7.72	0.05
修正デュレーション	6.07	6.06	0.01

- ※ 「複利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。
- ※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。
- ※ 上記の属性は2014年3月30日時点のものです。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。 ・3ページおよび5ページ～10ページに記載されている「1～7」の用語説明は、12ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の現況（2013年4月～2014年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

特別勘定 日本株式プラス型 [2014年3月 末日現在]

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2013年度のユニットプライス騰落率は+14.15%となりました。(以下、バリュー株Mファンドは委託会社独自のセクター別、グロース株MファンドはGICSセクター別で記載。) 当期の日本株式市場は、変動率の高い展開ながらもアベノミクスへの期待感などから概ね堅調に推移しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、バリュー株Mファンドでは、テクノロジーのオーバーウェイトなどがプラス要因となった一方、テクノロジーにおける銘柄選択などがマイナスに寄りました。グロース株Mファンドでは、情報技術における銘柄選択や、金融のオーバーウェイトなどがマイナスに寄りました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



日本株式プラス型			
	ユニットプライス		騰落率(%)
2014年3月末	169.18	過去1ヵ月	0.15
2013年12月末	179.65	過去3ヵ月	▲5.83
2013年9月末	167.89	過去6ヵ月	0.77
2013年6月末	162.17	過去1年	14.15
2013年3月末	148.21	過去3年	37.96
2012年12月末	122.15	設定来	69.18

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	10,968
有価証券売却益	—
有価証券評価益	28,758
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	39,727

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認ください。

■特別勘定資産の内訳

項目	日本株式プラス型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	11,212	3.0
その他有価証券	358,001	97.0
合計	369,214	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下(参考情報)に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

《参考情報》 適格機関投資家私費 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレイド・ファンド-2 [2014年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私費 アライアンス・パースタイン・ジャパン・スタイル・ブレイド・ファンド-2
 【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。バリュー株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス¹⁾を行います。

※ 当投資信託は、主としてパースタイン・日本ストラテジック・バリュー株・マザーファンド受益証券、アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券に投資します。

■当投資信託の詳細情報

○ 資産配分比率

	基本資産配分	投資信託
バリュー株Mファンド*	50.00%	49.77%
グロース株Mファンド**	50.00%	50.29%
短期金融資産等	0.00%	-0.06%
合計	100.00%	100.00%

* バリュー株Mファンド: パースタイン・日本ストラテジック・バリュー株・マザーファンド受益証券

** グロース株Mファンド: アライアンス・日本大型成長株・マザーファンド受益証券

・ 比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.12%	▲6.18%	0.79%	14.93%	41.09%	56.24%
BM	0.20%	▲6.74%	1.85%	18.56%	47.68%	56.66%
差	▲0.09%	0.56%	▲1.06%	▲3.63%	▲6.59%	▲0.42%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、

TOPIX(東証株価指数 配当込)⁴⁾です。

○ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	投資信託
1	トヨタ自動車	輸送用機器	6.32%
2	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	4.01%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.76%
4	日産自動車	輸送用機器	3.60%
5	日本たばこ産業	食料品	3.59%
6	日本電信電話	情報・通信業	2.68%
7	キヤノン	電気機器	2.60%
8	住友電気工業	非鉄金属	2.09%
9	オリックス	その他金融業	1.93%
10	本田技研工業	輸送用機器	1.88%
合計			32.45%
組入銘柄数			99銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 3ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の現況（2013年4月～2014年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

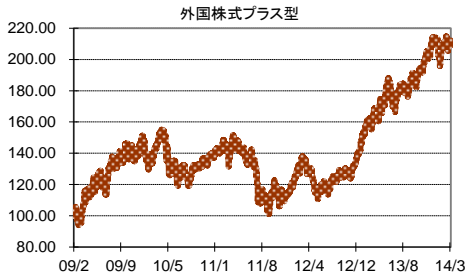
特別勘定 外国株式プラス型 [2014年3月 末日現在]

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2013年度のユニットプライス騰落率は+29.53%となりました。(以下、バリュース株Mファンドは委託会社独自のセクター別、グロース株MファンドはGICSセクター別で記載。) 当期の外国株式市場は、不安定な展開ながら概ね上昇基調で推移しました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、バリュース株Mファンドでは、資本財セクターやテクノロジーセクターにおける銘柄選択、生活必需品セクターのアンダーウェイトなどがプラスに寄与しました。グロース株Mファンドでは、生活必需品セクターや金融セクターにおける銘柄選択、生活必需品セクターのオーバーウェイトなどがマイナス要因となりました。各マザーファンドに対する基本資産配分を概ね維持しました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



外国株式プラス型			
	ユニットプライス	騰落率(%)	
2014年3月末	212.24	過去1か月	1.06
2013年12月末	214.11	過去3か月	▲0.88
2013年9月末	186.22	過去6か月	13.97
2013年6月末	172.76	過去1年	29.53
2013年3月末	163.86	過去3年	45.33
2012年12月末	141.86	設定来	112.24

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	8,585
有価証券売却益	—
有価証券評価益	190,300
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	198,885

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認くださいことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	外国株式プラス型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	50,700	4.5
その他有価証券	1,068,944	95.5
合計	1,119,644	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

《参考情報》 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・海外株式スタイル・ブレンド・ファンドー1 [2014年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・海外株式スタイル・ブレンド・ファンドー1
 【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、投資スタイルの分散を図り、主として日本を除く世界主要国の株式を投資対象に信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。バリュース株(割安株)及びグロース株(成長株)への投資配分は、50%程度ずつを基本とし、一定の規律に従いリバランス*を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

※ 当投資信託は、主としてアライアンス・パースタイン・国際バリュース株・マザーファンド受益証券、アライアンス・パースタイン・国際リサーチ・グロース株・マザーファンド受益証券に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	1.09%	▲1.14%	14.54%	31.15%	48.94%	86.75%
BM	1.07%	▲0.75%	15.03%	30.67%	66.53%	129.60%
差	0.03%	▲0.39%	▲0.49%	0.48%	▲17.60%	▲42.85%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2009年1月8日)を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、

MSCIコクサイ・インデックス[®](税引き後配当金込/円ベース)です。

■当投資信託の詳細情報

○資産配分比率

	基本資産配分	投資信託
バリュース株Mファンド*	50.00%	49.97%
グロース株Mファンド**	50.00%	50.09%
短期金融資産等	0.00%	-0.07%
合計	100.00%	100.00%

* バリュース株Mファンド: アライアンス・パースタイン・国際バリュース株・マザーファンド受益証券

** グロース株Mファンド: アライアンス・パースタイン・国際リサーチ・グロース株・マザーファンド受益証券

・比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

○組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	業態	投資信託
1	ロシュ・ホールディング	スイス	ヘルスケア	医薬品	1.64%
2	アップル	アメリカ	情報技術	コンピュータ	1.38%
3	ウェルズ・ファーゴ	アメリカ	金融	商業銀行	1.30%
4	シティグループ	アメリカ	金融	各種金融サービス	1.12%
5	ファイザー	アメリカ	ヘルスケア	医薬品	1.09%
6	オラクル	アメリカ	情報技術	ソフトウェア	1.05%
7	ヒューレット・パッカード	アメリカ	情報技術	コンピュータ	1.05%
8	マイクロソフト	アメリカ	情報技術	ソフトウェア	1.04%
9	ボーイング	アメリカ	資本財・サービス	航空宇宙・防衛	0.99%
10	クローガー	アメリカ	生活必需品	食品・生活必需品	0.99%
合計					11.66%
組入銘柄数					315銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・3ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の現況

（2013年4月～2014年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

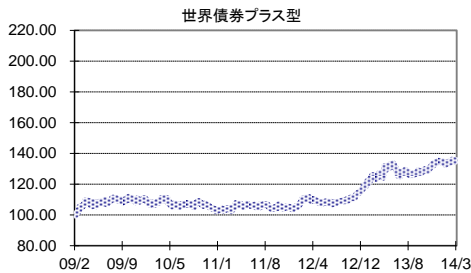
特別勘定 世界債券プラス型 [2014年3月 末日現在]

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2013年度のユニットプライス騰落率は+8.34%となりました。
 当期の世界の債券市場は、2013年9月半ばにかけては、米連邦準備理事会（FRB）が量的緩和策を早期に縮小するとの観測などを背景に、価格は下落（利回りは上昇）しましたが、その後は、価格は上昇（利回りは低下）に転じました。利用する投資信託のベンチマークとの比較では、米国やユーロ圏の残存期間戦略のほか、英国をオーバーウェイトとした国別配分が主なマイナス要因となりました。一方、社債をオーバーウェイトとしたセクター配分やブラジル・レアルを高め比率としカナダ・ドルを低めの比率とした通貨配分が主なプラス要因となりました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う方針です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



世界債券プラス型			
ユニットプライス		騰落率(%)	
2014年3月末	135.74	過去1か月	0.85
2013年12月末	135.18	過去3か月	0.41
2013年9月末	127.65	過去6か月	6.34
2013年6月末	126.40	過去1年	8.34
2013年3月末	125.29	過去3年	28.38
2012年12月末	119.41	設定来	35.75

- ※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日（2009年2月1日）の前日を100.00として計算しています。
- ※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。
- ※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認ください。

■特別勘定資産の内訳

項目	世界債券プラス型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	13,401	4.0
その他有価証券	320,306	96.0
合計	333,707	100.0

- ※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。
- ※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	17,231
有価証券売却益	—
有価証券評価益	4,951
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	22,183

《参考情報》 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・ファンド-3 [2014年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 適格機関投資家私募 アライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・ファンド-3
 【委託会社】 アライアンス・パースタイン株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として世界各国の投資適格債(BBB格以上)を投資対象に分散投資と投資対象証券の相対的投資価値分析を基本として、信託財産の長期的な成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。実質組入外資産資産については、原則として為替ヘッジは行いません。

※ 当投資信託は、主としてアライアンス・パースタイン・グローバル・ボンド・マザーファンド受益証券に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.93%	0.47%	6.80%	9.48%	31.40%	34.20%
BM	0.97%	0.71%	6.43%	10.91%	31.36%	30.00%
差	▲0.04%	▲0.24%	0.37%	▲1.43%	0.04%	4.20%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2009年1月8日）を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、シティ世界国債インデックス(円ベース)⁶です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
					ムーディーズ	S&P	
1	米国国債	アメリカ	0.250%	2015年5月31日	Aaa	AA+	3.99%
2	日本国債	日本	1.600%	2033年3月20日	Aa3	AA-	2.56%
3	日本国債	日本	0.300%	2018年3月20日	Aa3	AA-	2.53%
4	日本国債	日本	0.600%	2024年3月20日	Aa3	AA-	2.44%
5	米国国債	アメリカ	0.625%	2016年11月15日	Aaa	AA+	2.43%
6	オランダ国債	オランダ	1.250%	2018年1月15日	Aaa	AA+	2.27%
7	日本国債	日本	1.500%	2019年3月20日	Aa3	AA-	2.26%
8	日本国債	日本	1.000%	2021年12月20日	Aa3	AA-	2.13%
9	イギリス国債	イギリス	2.250%	2023年9月7日	Aa1	AAA	1.93%
10	米国国債	アメリカ	0.125%	2016年4月15日	Aaa	AA+	1.82%
合計							24.35%
組入銘柄数							163銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。 ・3ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～*7」の用語説明は、12ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）

特別勘定の現況（2013年4月～2014年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

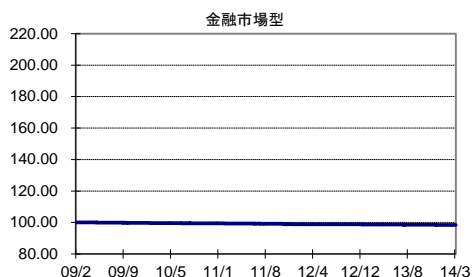
特別勘定 金融市場型 [2014年3月 末日現在]

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

2013年度のユニットプライスの騰落率は▲0.37%となりました。2013年度初めに、黒田日銀総裁による新体制発足後初となる金融政策決定会合で、マネタリーベースを今後2年間で2倍にすることや長期国債買入れの拡大と年限の長期化等を盛り込んだ積極的な金融緩和策を決定しました。これを受けて日本国債利回りはそれまでの低下傾向から上昇傾向に転じました。しかしながら、米国の量的緩和縮小への警戒感からリスク回避傾向となり利回りは低下傾向となりました。また日銀が国債市場の安定を図るための国債買入の改善策を講じたことも国債利回りの低下に影響しました。年度を通じてみると、日本短期債券市場は前年度末と同水準の利回りレベルとなりました。利用する投資信託では、社債での運用がプラスに貢献し、年度のリターンはベンチマークを上回る結果となりました。今後も引き続き、当投資信託への投資を行う予定です。

■特別勘定のユニットプライスの推移

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



日付	ユニットプライス	騰落率(%)
2014年3月末	98.37	過去1ヵ月 ▲0.04
2013年12月末	98.48	過去3ヵ月 ▲0.11
2013年9月末	98.58	過去6ヵ月 ▲0.21
2013年6月末	98.67	過去1年 ▲0.37
2013年3月末	98.73	過去3年 ▲0.97
2012年12月末	98.78	設定来 ▲1.63

※ 特別勘定のユニットプライスは、特別勘定の設定日(2009年2月1日)の前日を100.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のユニットプライスに対する当月末のユニットプライスの変動率を表しています。

※ 特別勘定のユニットプライスは、弊社ホームページにて各営業日にご確認いただくことができます。

■特別勘定資産の内訳

項目	金融市場型	
	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	6,416	10.1
その他有価証券	57,115	89.9
合計	63,531	100.0

※ 特別勘定で利用している国内投資信託は、「その他有価証券」の項目に含まれています。

※ なお、当特別勘定で利用している投資信託は以下《参考情報》に記載しております。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定資産の運用収支状況

項目	金額(千円)
利息配当金収入	85
有価証券売却益	—
有価証券評価益	▲17
有価証券償還益	—
為替差益	—
その他収益	—
有価証券売却損	—
有価証券評価損	—
有価証券償還損	—
為替差損	—
その他費用及び損失	—
収支差計	68

《参考情報》アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募) [2014年3月 末日現在]

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・ファンド(B) (適格機関投資家私募)

【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として円建ての短期公社債や短期金融商品に投資し、安定した収益の確保をめざします。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本円マネー・プール・マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	1.09年	51.26%
短期資産等	0.45年	48.74%
合計	0.78年	100.00%

・ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を

示す指標として用いられ金利の変化に対する

債券価格の変動率を示します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.00%	0.01%	0.04%	0.15%	0.54%	2.17%
BM	0.01%	0.02%	0.04%	0.07%	0.23%	1.60%
差	▲0.01%	▲0.01%	0.00%	0.07%	0.31%	0.57%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日本円無担保コールオーバーナイト物レート⁷⁾により日々運用したときに得られる投資収益を指数化したものです。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 3ページおよび5ページ～11ページに記載されている「*1～7」の用語説明は、12ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）

用語説明

- *1 「リバランス」とは、当初決定した基本資産配分に向けて調整することをいいます。
- *2 「NOMURA-BPI総合指数」とは、日本国内で発行される公募固定利付債の流通市場動向を的確に表すために、野村証券株式会社によって計算、公表されている投資収益指数です。
NOMURA-BPI総合は野村証券株式会社の知的財産です。野村証券株式会社は、当特別勘定の運用成果等に関し、一切責任はありません。
- *3 「シティ世界国債インデックス」とは、Citigroup Index LLCが算出・公表する指数で、
1984年12月末日を100として世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。
シティ世界国債インデックスに対する著作権、知的所有権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。
- *4 「TOPIX(東証株価指数 配当込)」とは、東京証券取引所第一部に上場されている普通株式全銘柄の浮動株調整後の時価総額を指数化し、
配当収益を考慮したインデックスであり、市場全体の動向を反映するものです。TOPIX(東証株価指数)は、株式会社東京証券取引所(以下株東証券取引所)の知的財産であり、
この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は株東証券取引所が有しています。
株東証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- *5 「MSCIコクサイ・インデックス」とは、MSCI Inc. が日本を除く世界の先進国株式市場のパフォーマンスを測るために開発した指数で、各国の株式時価総額等をベースに算出されたものです。
MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
MSCIコクサイ・インデックス(税引き後配当金込/円ベース)は、MSCIコクサイ・インデックス(税引き後配当金込/米ドルベース)をもとに、
わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて委託会社が円ベースに換算したものです。
- *6 「シティ世界国債インデックス(円ベース)」とは、Citigroup Index LLCが算出・公表する指数で、
1984年12月末日を100として世界主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額で加重平均し指数化したものです。
シティ世界国債インデックス(円ベース)に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はCitigroup Index LLCに帰属します。
- *7 「日本円無担保コールオーバーナイト物レート」について、コール市場とは、民間金融機関が短期的な手元資金の余剰や不足を調整するための市場をいいます。
このコール市場において、金融機関間で、担保なしで、翌日に返済することを条件に、短期の資金を貸し・借りする取引に適用される金利を「無担保コールオーバーナイト物レート」といいます。

ユニット・リンク保険（有期型）のリスク及び諸費用について ①

【投資リスクについて】

この保険は積立金額、払いもどし金額および満期保険金額などが特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの保険です。
特別勘定資産の運用は、主として国内外の株式および公社債を主要投資対象とする投資信託を利用して運用され、
株式および公社債の価格変動と為替変動などに伴う投資リスクがあります。
特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
運用実績によっては、ご契約を解約した場合の払いもどし金額や満期保険金額などが払込保険料総額を下回る場合があります。
特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、当社または第三者がご契約者に何らかの補償、補填をすることはありません。

【諸費用について】

<保険料払込時および保険期間中にかかる費用>

(以下の各費用の合計額をご負担いただきます。)

●保険関係費

<主契約部分>

保険契約の締結、維持などに必要な費用を主契約の保険料から控除します。主契約の保険料からこの費用を控除した金額を特別勘定に繰り入れます。
また、特別勘定に繰り入れた後に、死亡保障などに必要な費用を積立金額から定期的に控除します。
なお、上記の費用は、被保険者の年齢などにより異なるため、具体的な金額や上限額を表示することができません。

<特約部分>

特約を付加された場合は、主契約の保険料とは別に特約部分の保険料をご負担いただきます。
特約部分の保険料は特別勘定では運用いたしません。
また、契約条件に関する特約(O8)を付加し、特別保険料の付加の条件が適用された場合は、特別保険料をご負担いただきます。
特別保険料は特別勘定では運用いたしません。
特約部分の保険料および特別保険料は生命保険証券でご確認ください。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

ユニット・リンク保険（有期型）のリスク及び諸費用について ②

●運用関係費

項目	費用(平成26年3月まで)	費用(平成26年4月以降)	ご負担いただく時期
安定成長バランス型	投資信託の純資産額に対して 年率 0.61635%程度 (税抜:0.587%程度)*1	投資信託の純資産額に対して 年率 0.63396%程度 (税抜:0.587%程度)*1	特別勘定にて 利用する 投資信託において、 毎日、 投資信託の 純資産額から 控除します。
積極運用バランス型	投資信託の純資産額に対して 年率 0.74340%程度 (税抜:0.708%程度)*1	投資信託の純資産額に対して 年率 0.76464%程度 (税抜:0.708%程度)*1	
日本株式プラス型	投資信託の純資産額に対して 年率 0.99750%程度 (税抜:0.950%程度)	投資信託の純資産額に対して 年率 1.02600%程度 (税抜:0.950%程度)	
外国株式プラス型	投資信託の純資産額に対して 年率 0.99750%程度 (税抜:0.950%程度)	投資信託の純資産額に対して 年率 1.02600%程度 (税抜:0.950%程度)	
世界債券プラス型	投資信託の純資産額に対して 年率 0.68250%程度 (税抜:0.650%程度)	投資信託の純資産額に対して 年率 0.70200%程度 (税抜:0.650%程度)	
金融市場型	投資信託の純資産額に対して 年率 0.034125%~0.483000%程度 (税抜:0.0325%~0.4600%程度)*2	投資信託の純資産額に対して 年率 0.035100%~0.496800%程度 (税抜:0.0325%~0.4600%程度)*2	

※ 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。

信託報酬の他、信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料及び消費税等の税金等の諸費用がかかりますが、これらの諸費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、各特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの諸費用を間接的に負担することとなります。

これらの運用関係費は、特別勘定の廃止もしくは統合・運用協力会社の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

*1 「安定成長バランス型」および「積極運用バランス型」の運用関係費は、主な投資対象である投資信託の信託報酬率を基本資産配分比率で加重平均した概算値です。各投資信託の信託報酬率はそれぞれ異なりますので、各投資信託の価格の変動等に伴う実際の配分比率の変動により、運用関係費も若干変動します。

*2 「金融市場型」の運用関係費は、各月の前月最終5営業日における無担保コールオーバーナイト物レートの平均値に応じて毎月見直されます。

<解約時にかかる費用>

●解約控除

項目	費用	ご負担いただく時期
解約控除	解約日における保険料払込年月数が10年未満の場合に、基本保険金額に対し保険料払込年月数により計算した額	解約日の積立金額から控除します。

※ 解約控除額は保険料払込年月数などによって異なり、具体的な金額を表示することができません。

※ 基本保険金額を減額されたときは、減額分は解約されたものとしてお取扱いたします。

※ 保険料払込年月数が10年未満の場合に定額払済養老保険への変更などをされる場合にも解約控除がかかります。

<積立金の移転に関わる費用>

項目	時期	費用	備考
積立金 移転費用	積立金の 移転時	【書面による移転申込みの場合】 月1回1,500円、 2回目からは1回につき2,300円	毎回の移転について積立金から控除します。
		【インターネットによる移転申込みの場合】 月1回の移転は無料、 2回目からは1回につき800円	1ヵ月に2回以上積立金の移転を行なう場合、 2回目からの移転について積立金から控除します。

※ 積立金移転時は、その際必要となる移転費用の2倍相当額以上の積立金残高が必要です。

※ 積立金移転費用は将来変更される可能性があります。

<年金払特約、年金払移行特約による年金支払期間中にかかる費用>

項目	項目	費用	ご負担いただく時期
年金 管理費	年金のお支払いや 管理などに必要な 費用	年金額に対して 1.0%	年単位の契約応当日に責任準備金から控除します。

※ 年金管理費は、将来変更される可能性があります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-936-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>